

水



Water

海洋汚染



人間の生活排水、工場からの廃水などが川や海を汚しています。人間が汚した水には、自然界の中では分解できない有害な物質が含まれています。それらがプランクトン・魚・動物の体内にたまっていき、生態系にもダメージを与えています。それは、魚をよく食べる日本人にとって無関係の話ではありません。

地下水 砂漠化

地下水



アメリカのオガララ帯水槽や中国の華北平原など世界のあちこちでは、たくさんの農作物をつくるために非常に長い時間をかけてたまった地下水をどんどんくみ上げています。そのため、これらの地下水の水は急速になくなってきています。温暖化による干ばつ・洪水に加えて、これらの地下水がなくなってしまうと、世界中に深刻な水不足と食料不足がおきると予想されています。日本は、これらの地下水で作られた農作物をたくさん輸入しています。

砂漠化

「砂漠化」が世界中でどんどん進んでいます。その原因としては、①同じ種類の農作物を作りすぎて土に栄養がなくなる。②草地で家畜をたくさん飼いすぎて、緑が食べつくされてしまう。③たくさんの水と肥料を使って農作物を育てるので、水や肥料に含まれていた塩分が土にたまって畑が使えなくなるなどということです。

コーヒー・カカオ・サトウキビなど、砂漠化が進んでいるアフリカの国々で作られた農作物は、日本にも輸入されています。農作物を多く作る理由は、その人たちが自身の食べ物を作ることよりも、外国に輸出するための農作物を作る割合が多くなっているからです。

森林破壊や温暖化などによって気候が変化し乾燥が進むことで、ますます砂漠化が加速することが心配されます。

洪水



温暖化が進んで気温が高くなると、空気はたくさんの水蒸気を含むようになります。すると、集中豪雨がおきやすくなり「洪水」になる数が増えます。

その一方で、気温が高いと乾燥し「干ばつ」になる地域も増えていきます。このように温暖化が進んでいくと、ある場所では洪水が、別のところでは干ばつがおきやすい気候になっていきます。

温暖化による気温の上昇のしかたは、地球全体で同じではなく、南極や北極の方にいくほど高くなっていきます。たとえば、アラスカでは10年ごとに1℃ずつ気温が上昇しており、ベーリング氷河がどんどん小さくなってきています。氷・氷河が溶けると海面が上昇し、さらに氷が溶けるだけではなく、海の温度が上がり海の水が膨張することでさらに海面が上昇します。氷は太陽の光を鏡のように反射して温暖化をふせいでいるが、氷が溶けて陸地が出てくると太陽の熱が吸収されるようになり、温暖化はさらに加速されます。



海面 上昇